



学校教育目標 心豊かな子(徳) 体をきたえる子(体) 学び合う子(知)

1年間のご支援、ご協力、ありがとうございました

校長 星野 和久

暖かい日差しに、春を感じる日が増えてきました。日一日と春へ向かって季節が進んでいるのを感じます。子どもたちは、1年間の学習や生活を振り返り、自分の成長を確認する大事な時期を迎えます。一人一人が進学や進級へ向けての意欲を高めていくこと、そして、夢や希望を抱き、一步一步前進していこうとする心を成長させることを期待しています。

学校に春が訪れたと感じるのは、やはり桜の開花です。桜の木は、今はまだ、何の変化もないように見えますが、よく見てみると枝先にはたくさんの木の芽がついています。変わらないように見える樹木も、しっかり張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めているのです。

この3月は、ちょうどそうした時期です。6年生は卒業・進学へ向けて、1年生から5年生は進級へ向けて、それぞれの学年の仕上げをする時です。勉強や運動はもちろん、友達との関わりやあいさつなどの日常生活を見直し、がんばってきたことやできるようになってきたことを確かめる時期です。

この一年間、友達との学び合いを通して、子どもたちは大きく成長しました。様々な経験の中には、楽しいことばかりではなく、難しい課題もあったかもしれません。しかし、人はそれらのことを乗り越えることで、成長することができます。子どもたち一人一人が、しっかりと心の準備をして、希望に満ちた新しい出発である春を迎えてくれることを願っています。

3月24日(火)には、卒業式があります。最高学年として、学校を支えリードしてくれた卒業生67名に感謝しながら、卒業をお祝いしたいと思っております。

この1年間、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に多大なご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。これからも教職員一同、力を合わせてがんばって参ります。今後とも、ご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

<少年の主張 in ふじみ野>

今年度も青少年育成ふじみ野市民会議主催の「少年の主張 in ふじみ野」が、1月31日(土)に、ふじみ野ステラ・イーストホールで開催されました。市内18小・中学校にふじみ野高校を加えた19校から、各学校の代表者が演壇に立って、様々な主張を展開しました。さぎの森小学校からは、代表として5年生の北 悠乃(きた はるの)さんが出場し、「私の思いと夢」という演題で発表しました。北さんは、将来の夢の実現に向けて、その思いを力強く発表してくれました。会場にいた大勢の参観者もうなづきながら聞いていて、すばらしい発表ができました。

